

第6期 福岡市男女共同参画審議会（第4回）議事録

1. 開催日時 平成27年9月2日（水）14:00～17:00
2. 場 所 福岡市役所 1504会議室（15階）
3. 出席者（出席委員 16名）
相原委員、石川委員、岡崎委員、緒方委員、雁瀬委員、坂田委員、
鈴木委員、藤委員、中村委員、錦谷委員、久留委員、日高委員、
藤井委員、星乃委員、前田委員、増川委員
（欠席委員 2名）
甲斐委員、原委員
（福岡市 6名）
市民局長 外5名
4. 傍聴人 6名
5. 議 題（1）男女共同参画基本計画（第2次）の平成26年度実施状況に対する
評価について
（2）男女共同参画基本計画（第2次）の総合評価について
（3）男女共同参画基本計画（第3次）の原案について
6. 議事概要（○…委員 △…事務局）

**【議題1 男女共同参画基本計画（第2次）の平成26年度実施状況に対する評価に
ついて】**

①男女平等教育・地域支援部会から報告

<男女平等教育・地域支援部会から、部会での審議状況と審議会評価（案）につい
て報告>

- 「地域における男女共同参画推進活動の支援」の1行目の最後、「地域における諸団体の長」前に、例えば「自治会長など」という固有名詞を入れてはどうか。
- 市から自治会長に女性を登用することを働きかけるのは難しいということで、審議会意見としてはこの表現にしている。
- 市から働きかけるのは難しくても、審議会の意見として言えないのか。
- 実態を考えると難しいところである。女性は、家事の時間が必要だから、地域の活動に多くの時間を割けないと考える人がまだ多いので、もう少し時間がかかると思う。副会長なら大丈夫だろうと思うが、女性自身も尻込みすることもある。
ある程度名指しで候補者を挙げていくというやり方はあると思うが、候補者が仕事をしやすいように、サポートする人をあらかじめ用意しておくことも必要だと思う。
- 長になるかどうかもちょうど重要なかもしれないけれども、副だったら可能かもしれないということは、いい意見だと思う。最初は副会長など、いろいろな形で女性の参加を促進して、そこで自信をつけてから長になるという、戦略が必要だと思う。いきなり長になるのは厳しいと思う。それは男性にしても同じだと思う。
- 「地域における諸団体の長への女性の参画を促進する」という文言の前に、「意思決定の場に女性が参画することが求められている」「重要な課題となっている」と入れて、「だからそういうふうに市から働きかけてくださいね」というふうにすると、副でもいかなというニュアンスが伝わるのではないか。
- 今、言われたように、ストレートに「自治会長」という言葉を入れるのが現実にはすぐわかないということであれば、「国が目標を掲げて、推進している」「これを受けて、地域における諸団体の意思決定の場に女性の参画を促進するように」というふうにしたら、わかりやすいと思う。
- 長にこだわっているわけではないので、意思決定の場にという言葉で表現すればいいと思う。
- それでは、審議会意見の文章の細かい表現については、会長と部会長で調整すること

でいいか。

(異議なし)

- 男女平等教育については、修正なしでよろしいか。

(異議なし)

②DV防止・政策方針への参画促進部会から報告

<DV防止・政策方針への参画促進部会から、部会での審議状況と審議会評価（案）について報告>

- 審議会等委員への参画率の27年度の数值はわかっているのか。

△ 32.7%である。26年度の評価ということで、資料には26年度までの数字しか記載していない。

- 意見がなければ、部会報告のとおりで決定してよろしいか。

(異議なし)

③ワーク・ライフ・バランス・女性の参画促進部会から報告

<ワーク・ライフ・バランス・女性の活躍促進部会から、部会での審議状況と審議会評価（案）について報告>

- 9ページ、子育て支援の審議会意見のところだが、文章の中ほどに「今年7月から、学校休業日の朝の開始時間を早め」とあるが、夏休みからということではないのか。

△ 夏休みが始まる7月からである。

- 同じページの、審議会意見の上から2行目の「未入所児童数」というのは、保育園に1,500人分の枠が空いているということか。
- そうではなくて、近くに入れる保育園はあるが、自分自身がそこではないところに行きたいというので、入らないでいるという児童である。
- 意見がなければ、部会報告のとおりで決定してよろしいか。

(異議なし)

【議題2 男女共同参画基本計画（第2次）の総合評価について】

①男女平等教育・地域支援部会から報告

<男女平等教育・地域支援部会から、部会での審議状況と審議会意見（案）について報告>

- 2次計画の総合評価と3次計画は、つながるものだと思っている。3次計画では特に地域の問題を大きく取り上げる、アミカスの機能を強化する方向性になっている。それを受けるとすると、基本目標6の文章に、アミカスについて「引き続き拡充などが求められる」程度の文言を入れたほうが、第3次計画との整合が取れるのではないか。

○ これから3次計画を議論するが、その中にはアミカスについてきちんと書かれているので、そこにつなげるためにも、ここで少し書き込むほうがいいと思う。

- アミカスの位置付けについて、どこまで市として言えるのか。

△ アミカスは拠点施設として、いろいろな分野で幅広く啓発を行っているが、地域においては区役所の役割もかなり重要であり、連携して取り組んでいくため、アミカスだけを前面にというのは難しいと思う。3次計画でもアミカスについては、かなり書き込んでいるので、そちらを見ていただければと思う。

- 今、区役所の役割と言われたが、区役所は一番市民、地域に近いところにあるので、アミカスもだが、区役所の役割を書いてもいいのではないか。
- 3次計画に書いてあるので、2次計画の評価の審議会意見としては、アミカスはこの取り組みを行ってきたということをお願いしたい。

(異議なし)

- わかりました。それでは部会報告のとおり決定する。

②DV防止・政策方針への参画促進部会から報告

<DV防止・政策方針への参画促進部会から、部会での審議状況と審議会意見（案）について報告>

(意見なし)

- 意見がなければ、部会報告のとおりで決定してよろしいか。

(異議なし)

③ワーク・ライフ・バランス・女性の活躍促進部会から報告

<ワーク・ライフ・バランス・女性の活躍促進部会から、部会での審議状況と審議会意見（案）について報告>

- 基本目標の3と5どちらにもかかわると思うが、働くということについての、例えば労働時間の短縮とか、保育所の問題とか、具体的なものを挙げているが、この5年間に非正規の女性が非常に多くなったという、その辺の労働法制の問題等に少し触れなくていいのか。

- その件は部会でも議論した。女性の管理職登用だけではなくて、現実問題として非正規の人たちの問題が大きな問題になってきているというのは、部会でも認識しているが、福岡市に労働の部署がないので、市の政策にどう盛り込んでいくかが、難しいという話になった。

- △ 市でも就労支援をしているが、相談窓口や国・県との連携、情報提供である。市に権限がないものがあり、国・県との連携で行っている。

- 例えば、今、言われたみたいに、「国と連携しながら、非正規については取り組んでいく」というような言い方も難しいのか。

- △ 再就職支援や就職支援については、ハローワークと連携しながら進めているが、どのような表現ができるかである。

- 表現の問題だと思う。現に連携して、今も既に取り組んでいるので、表現を工夫して盛り込んでどうか。

- 「非正規」という言葉は入れたい。

- 入れるとすれば、基本目標5の最後のところだと思う。「働く女性への支援」という言葉が下から3行目にあるが、その前に、「非正規労働」「非正規雇用など」という感じで一言入れて、それも含めた働く女性への支援としては国と連携して進めますという言葉にしてはどうか。

- 女性の活躍推進と言う前に、みたいな気持ちはあるし。そのところは市も非常に課題だと思っていますよと。何かそこに触れる文章は要るのではないかなと思う。「だから、こういう連携を考えている」とか。今、女性の貧困化がそこにあるわけだから。

- 市の管轄かどうか、それに対してどんな対応ができるかというのは話が別なので、審議会の意見としては、非正規労働という問題があると認識していることは書くべきだと思う。

△ 基本目標5の最後の3行で、「働く女性への支援については」というところが、「国の動きを注視しながら」と書いているので、「〇〇〇などの働く女性への支援については」ということで、例示を入れて修正したい。

○ それでは、非正規の問題の文言等を部会長と相談して修正する。それ以外については、部会報告のとおりとする。

【議題3 男女共同参画基本計画（第3次）の原案について】

①総論について

○ 19ページの参考指標の、基本目標3のiiiはわかりにくい。この数字は、【優先したい】と【優先している】を比べて、希望と現実のギャップが出ているということか。

△ そのとおりである。

○ 下の「仕事と家庭生活をともに優先したい」と「している」という人の数値は参考になると思うが、上の「仕事を優先したい」「優先している」は必要ないのではないか。

○ 14、15ページの体系図に、性的マイノリティーの方たちの人権の問題は記載されているか。

△ 基本目標2の4「貧困、高齢、障がい等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備」に含まれている。

△ それにあわせて、36ページの基本目標2の最後の段にも書いている。

○ 14ページの図のどこか、(29) 高齢者、障がい者あたりに記載する必要はないのか。もう1点は、16ページの4番の男女平等教育の「小・中学校における」というところに、「保・幼」は記載しなくていいのか。教職員の研修については、保育園、幼稚園も入っていたと思う。

○ 福岡市は市立高校がある。小学校、中学校ではもちろん取り組むのは大事だが、高校での取組も大事だと思う。高校のことはどこかに載っているか。

△ 夏休みに、男女平等教育研修会をやっており、幼稚園から高校まで、市立学校の教師が参加している。

△ 30ページの教育に携わる者への研修の充実ということで、「教職員は」と書いているところを、もう少し詳しく書き込んで、幅広いイメージを持たせるよう考えたい。

○ 先ほど、3次計画の目玉が地域と、女性の活躍と説明があったが、地域の数値目標を設けないと、目玉にはならないと思う。

△ 地域のことは地域の方々が自主的にして、それに対して行政が支援をしていくということになるので、市が数値目標を立てるよりも、いろんな取組を支援することで、その数値が上がっていくことが、ふさわしいのではないかと考えている。

○ 確かに、女性を就任させること自体は、自治の問題があるので難しいと思うが、自主的な目標を立ててもらうように取組をしていくのであれば、その取組支援の数値目標を立てることは可能か。

△ 地域における男女共同参画は非常に大事だと考えている。前の計画も週間をつくるとき、計画に盛り込み、週間なのか月間なのか、時期をいつに設定するかを、盛り込む前に、地域の意見を聞いて、その結果を踏まえて入れたという経緯もある。

実際に取り組まれる地域が自発的に、意欲的に取り組まないと、市がやってくださいといっても、やらされ感につながるので、そこは大事にしたいと思っており、地域の意見も、しっかり聞いた上で、どうするか考えたい。

○ 18ページの数値目標が（5）だけ15%「程度」となっているのは、何か意味があるのか。

△ この数字は、人事部門の方で、女性活躍推進法に基づき、福岡市も特定事業主として行動計画を作る中で、女性管理職の比率の目標を立てようと検討したもので、10年後の平成37年度までに20%を目標とし、中間目標なので15%程度としている。

○ (3)の企業における管理職は12%と「程度」を付けていない。どちらかに合わせてはどうか。

○ いろいろ意見が出たので、ここで意見を整理して、取りまとめたいと思う。

△ まず、14、15ページの体系図の中に、性的マイノリティが見えないという意見については、基本目標2の4、具体的施策29で、高齢者、障がい者等が安心して暮らすための支援の「等」の中に含めて考えている。

次に、16ページの、2と3の表現の「また」の改行については、修正する。

次に、18ページの数値目標について、(3)と(5)の「程度」をつけるかどうかを合わせてはどうかという意見については、(3)は、市の総合計画の目標に合わせるため、このまま「程度」を付けないこととする。(5)の「程度」は、人事部と調整したい。

次に、地域における諸団体の長への委員の就任率を数値目標にしないが、代わりに自主的な取組を支援する団体の数について目標を立ててはどうかという意見については、自治協議会の会長などいろんな方の意見をヒアリングしたところ、地域に関する数値目標を立てるのは難しいと考えている。

次に、19ページの参考指標、基本目標3のワーク・ライフ・バランスの指標がわかりにくいと言う意見については、上のほうの「仕事を優先したい」「優先している」割合は削除して、わかりやすく修正したい。

また、各論になるが、30ページの男女平等教育の推進のところ、市立高校もという意見があった。具体的施策2の教育に携わる者への研修の充実の内容のところの対象を「幼稚園から高校まで」と表現したいと思っている。

②各論について

○ 中学校の混合名簿については、いろいろ課題になっていると思うが、高校は混合名簿になっているのか。

△ 確認する。

○ 28ページの基本目標1に、「拠点施設アミカスを中心に」とあるが、アミカスの認

知度が100%ではないので、「福岡市男女共同参画推進センター」と入れたほうが良いと思う。

○ アミカスのことで、せつかく総論でアミカスを拠点施設と位置づけて、図示して、わかりやすく訴えているので、基本目標1で、「福岡市男女共同参画推進センター・アミカスを拠点施設として」という形で入れたら、ほかの各論でも、「アミカス」を出してはどうか。今のところ、他に出てくるのは基本目標4だけで残念に思う。

△ 具体的な施策のところでは、アミカスがかかわっている部分はあるので、どういう形で書き込めるか検討したい。

○ アミカスの見える化ということは、男女共同参画の見える化になると思う。

○ アミカスは、企業への働きかけはしていないのか。

△ 今は、企業のトップの経営者や人事担当者を対象とした講演会、企業で働く女性のリーダー育成の研修を企業に代わってやっている。

それとは別に、男女共同参画課で、ワーク・ライフ・バランスの出前セミナーや講演会をしている。

○ 女性活躍推進法関連で50ページの下から4行目が、企業全てに策定・公表が義務づけられると誤解を与える表現になっている。301人以上が対象ということが、わかるようにしてほしい。

○ 44ページの下から9行目の「今後、企業にとって」という、ここの3行は、すごく大事だと思う。きれいに書いてあるが、さらっと読んでしまう。

というのが、最後のところの「中長期的な経営戦略の一つであるという認識を広げることが必要です」という、この言葉が漠然としている。企業にとって、ワーク・ライフ・バランスを推進していくということが、生産性や従業員満足度の向上とか、有能な人材の確保につながりということはそのとおりだが、語尾をどうにかできないのかと思う。

△ 表現を工夫したいと思う。

○ 今のページの下から6行目。「併せて、男女間に根強く残る」の「男女間に」は必要か。

△ 「女性にも男性にも」という表現に変えたい。

○ 50ページで、非正規雇用について、「半数を超えている」とはあるが、先ほどの第2次計画の評価での議論を前向きにした形で、啓発していくなど、前向きな表現にできないか。

○ 56ページの下から2行目、「あわせて、長時間労働の解消など、男性を含め、市役所全体で働き方を変える取り組みを進める必要があります」となっているが、市役所のことなので、「進めます」と書いていいのではないか。

△ 所管部局と協議する。

○ 基本目標4の企業のところではテレワークという言葉が出てくるが、福岡市はテレワークについて研究しているのであれば、56ページの基本目標5に盛り込んでどうか。

△ 実際やっている。

○ 60ページの基本目標6の中ほどに、「地域や諸団体が立てられる自主的な目標の実現のための支援を行うことが必要です」とあるが、ここは力強い宣誓みたいなものだと思うので、もう少し市としての意思が欲しいと思う。

○ どの基本目標も「必要です」くらいの書きぶりになっている。

△ もともと「現状と課題」と位置づけていたが、現状と課題以外のことも含めてという意見が部会で出て、現状と課題というのを外したが、そのことによって、表現が難しくなってきた面はある。

○ 外してしまうと、ここにダイジェストとして全てが書いてあるように普通捉えるので、他人事みたいに書いていると、やはり違和感がある。変えたら変えたで、徹底して変えたほうがいいと思う。

- △ 現状と課題だけでいいのかということによって変えているので、現状と課題が中心ではあるが、大事なところは盛り込むような形で、見直したい。

- 基本的に、文章がわかりにくいと思う。これはよく読むと、「資質向上の機会提供を行う必要があります」というのと、「支援を行う必要があります」という二つのことが書いてある。二つの文章に分けたらどうか。

- △ ここは、2つの事業を1つにまとめているので、文章の表現の仕方を考えたい。

- 例えば、60ページの下から3行目に、「取り組みを進めていかなければなりません」という言い方がある。「必要です」というところを、そういった言い方に変えるだけでも、ちょっと強い気がして、すっとながると思う。

- 基本目標の全体を通じて言えることなので、文章を練っていただきたい。

- 市民にわかりやすくするためには、「基本目標のここではこういった事項は書いている」「その具体的な施策の方法としては、その次に述べている」というのをどこかにまとめて書いてはどうか。

- △ 強調するところは強調して、全体の組み立てとしては、次のところに方法は書いているなどの説明を入れたい。

- 最初のほうに書かれていれば、市民が読んだら、最初はどう書いて、問題点が提示されて、その施策の方向はこうだと、全体の見取り図がわかるのではないか。